

国立大学改革プラン(平成25年11月)

第3期中期目標期間(平成28年度～)には、各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へ

各大学の機能強化の方向性

- 世界最高の教育研究の展開拠点
- 全国的な教育研究拠点
- 地域活性化の中核的拠点

各大学の機能強化の視点

- 強み・特色の重点化
- グローバル化
- イノベーション創出
- 人材養成機能の強化

改革加速期間中(～H27年度)の機能強化の取組

- 「ミッションの再定義」を踏まえ、
- 社会の変化に対応できる教育研究組織づくり
 - 国際水準の教育研究の展開
 - 理工系人材の戦略的育成
 - 人事・給与システムの弾力化
 - ガバナンス機能の強化

平成27年度予算での対応

「日本再興戦略2014改訂」 (H26.6.24閣議決定)

- 「国立大学改革プラン」に掲げられた目標達成に向けた取組を着実に進める。
- 産業界及び地域等のニーズを踏まえつつ、世界最高水準の教育研究の展開拠点、全国的な教育研究拠点、地域活性化の中核的拠点等の機能強化
- 年俸制・混合給与の導入等の人事給与システム改革を推進

【国立大学の機能強化(運営費交付金): H27予定額: 156億円(79億円増)】

国立大学の機能強化を推進するため、教育研究組織の再編成や人事・給与システムの弾力化を通じて、
①世界最高水準の教育研究活動の飛躍的充実や②各分野における抜本的機能強化及びこれらに伴う若手・外国人研究者の活躍の場の拡大等に取り組む大学に対して重点配分。
また、年俸制の本格的導入に積極的に取り組む大学に対しても重点配分。

①世界水準の教育研究活動の飛躍的充実

◆各大学の卓越した研究実績や国際的ネットワークを活用した海外のトップ大学からの研究者グループの招へいや海外展開など、世界水準の教育研究活動の飛躍的充実を図る大学に重点配分

②各分野における抜本的機能強化

◆イノベーション創出のための理工系・ライフ分野や質の高い信頼される教員の養成など各分野の抜本的、構造的な機能強化を図る大学に対して重点配分

【国立大学改革強化促進事業: H27予定額: 168億円(▲18億円)】

学長のリーダーシップの下、ガバナンス改革に取り組むとともに、「ミッションの再定義」を踏まえた学内資源の最適化のための大学や学部の枠を越えた教育研究組織の再編成に向けた取組や人材の新陳代謝などの先導的な取組を集中的かつ重点的に支援。